

## ステント留置後の生活について（患者さん向け）

1. 基本的には通常どおりの生活が可能です。再閉塞の可能性に注意が必要です。
2. 再閉塞の症状としては元の症状、例えば歩くと痛みが出る、あるいは自分で拍動が確認して、弱くなってきた場合には、かかりつけ医を受診して下さい。早め気付けばもう一度今回の手技と同様の方法で内部を広げたり、ステントを追加しての治療も可能です。
3. なおステントが下腿等にある場合は強い力がその部分の加わると破損する場合がありますので、注意してください。
4. 再閉塞予防のためのお薬は、しばらく継続する必要がありますが、長期間のうちには出血症状が出る場合があります。皮膚が青あざのようになり、眼の白い部分に出血したりする場合はご自分でも分かりやすいですが、体の中で出血している場合は分かりにくいので、心配な場合にはかかりつけ医にご相談して下さい。
- 4.上と同様ですが、今後どこかで手術や内視鏡、抜歯その他の処置をする場合には出血する可能性がありますので、抗血小板を飲んでいることは、担当の医師にお伝え下さい。
5. 今回は部分的な血管の治療をおこないましたが、心臓や脳の血管も同時に細くなったり、詰まったりする場合がありますので、心配な場合には、かかりつけ医にご相談して下さい。